

# こんぴら

vol.35

2015

グループホーム こんぴら

## 行事報告

サンライズ こんぴら

## 行事報告

## 利口げな話

特集:「へえ〜っ、そうなんだ!?  
〜昔の人はすごい!!〜」 第29回

## 編集後記

## 関連機関

### 特集

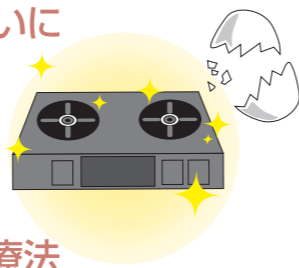
へえ〜っ、そうなんだ!?  
〜昔の人はすごい!!〜

### 第29回



#### ! 煮こぼれあとの汚れは卵の殻できれいに

ガスレンジの受け皿についた、煮汁や油のあと。時間が経つとガビガビのガンコな汚れに変身してしまいます。こんな時は、スポンジに洗剤をつけて、この上に細かく砕いた卵の殻を乗せて磨きます。殻が研磨剤の役目をして、ピカピカにします。



#### ! 鼻づまりには玉ねぎの芯でかんたん療法

鼻づまりをおさえるには、玉ねぎを使いましょう。方法は簡単で玉ねぎの白い芯の部分の近くに持ってきて、鼻で何度も深呼吸。玉ねぎの匂いをたっぷり吸い込むと、鼻のとおりがよくなりすぐに効いてきます。

\*昔から、「おばあちゃんの知恵」といわれているものは、長年の経験に基づいた先人たちの知恵の凝縮です。わたしたちも入居者の皆様から、たくさんの「へえ〜っ、そうなんだ!?!知らなかった〜!昔の人はすごいなあ〜」と、実感できるアイデアを日々、教わっています。

(参考文献:宝島社 おばあちゃんの知恵袋 決定版 生活のコツ700 編集/佐藤倫子)

### 編集後記

寒さが身にしみるようになってきましたね。最近ではエアコンが普及し家の中で暖かく過ごすため、寒暖の差に身体がついていけずに体調を崩す人が多くなっているようです。健康な身体づくりのために、暖かい時間帯を有効活用して散歩や庭いじりをしてみてはどうでしょうか。皆様、身体にはお気をつけてください。

グループホーム こんぴら・サンライズ こんぴら 広報誌「こんぴらだより」第35号

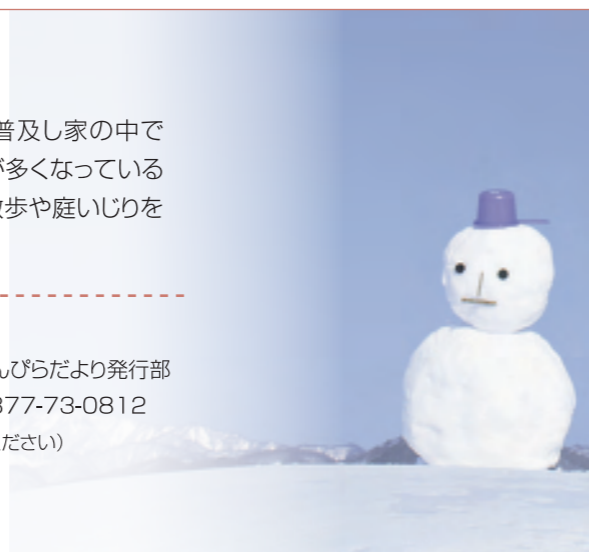
発行元: 認知症高齢者グループホーム こんぴら 編集者: グループホーム こんぴらだより発行部

住所: 〒766-0002 仲多度郡琴平町167 TEL:0877-73-0811 FAX:0877-73-0812

ホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/> (永生病院のホームページよりお進みください)

eメールでのお問い合わせは [keiryokai@eisei-hp.or.jp](mailto:keiryokai@eisei-hp.or.jp)

発行年月日: 平成27年1月10日



### 支援医療機関・介護保険事業所



#### 永生病院

〒769-0311  
仲多度郡まんのう町買田221-3  
Tel 0877-73-3300



#### 森内科 (グループホーム こんぴら 建物の1階)

〒766-0002 仲多度郡琴平町167  
Tel 0877-73-4188

#### グループホーム こんぴら

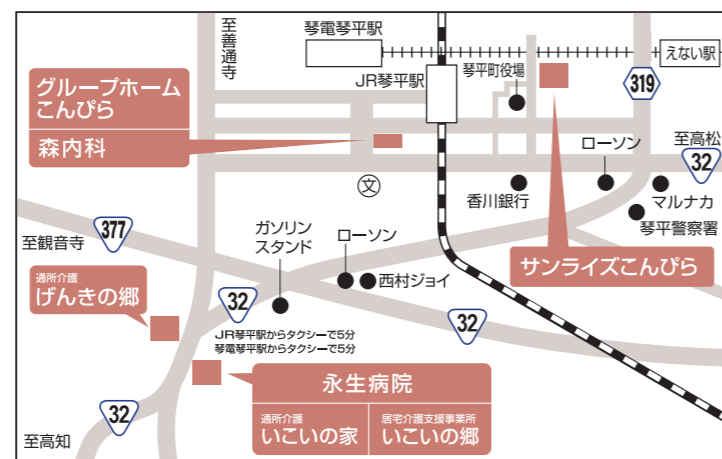
Tel 0877-73-0811



#### サンライズ こんぴら

(小規模多機能型居宅介護)  
〒766-0004  
仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1  
Tel 0877-58-8600

- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護) 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811



KEIRYOKAI  
produced by  
医療法人 圭良会

# 謹賀新年

## 地域包括ケアシステムにおける認知症

少子高齢化社会が加速していく中で、これからの医療・介護の提供のかたちをどうしていくかの対策として、地域包括ケアシステムの構想が示されています。そして、その実現に向けて6月に医療介護総合確保推進法が公布されました。今後、この課題の議論が盛んになってくるものと思われま

す。ここで、現状の人口動態を統計的にみてみますと、平成24年の総人口は、1億2752万人、老年人口指数(生産年齢人口に対する65歳以上の老年人口の割合)は38.4%です。大都市では低く、香川県は45.3%と平均よりやや高値となっています。

出生数と死亡数の推移をみますと、平成24年は出生数103万人、死亡数126万人であり、30秒に1人出生し、25秒に1人死亡しています。ここ6年間は、死亡数が出生数を上回り、その傾向は次第に増加してくものと思われま

す。慢性期医療においては、複数の疾患と共に認知症をもたれた方がかなり増えています。たとえ従来のご病気が落ち着いても認知症のため、本来のご自宅での生活が困難な場合に遭遇いたします。日常生活動作がある程度可能な場合は、できるだけその人らしい生活の仕方ができる環境での生活が望ましいので、これからも当法人の認知症に対する取り組みを続けてまいります。

理事長 森 伊津子

# グループホームこんぴら Group Home Konpira

## ●基本理念

家庭的温かさ・個人の尊厳を大切に、豊かな生きがいのある共同生活が送られるよう、家族の一員としての介護支援を行います

## ●基本方針

- 1.家庭的で安全な療養環境を提供します
- 2.24時間家族の一員がそばにいる安心感がもてるよう介護支援を行います
- 3.自分らしさを尊重した生活が送られるよう入居者の健康増進を図り個別性のある介護支援を行います



## ～第22回日本慢性期医療学会 in 熊本～

平成26年11月20日、21日、熊本県で開催された第22回日本慢性期医療学会に参加しました。「患者は1人ではなく、共にいきている」をテーマに、グループホームこんぴらを退居後も職員、入居者と関わりを持ち続け最後まで自分らしく生きた方の事例について発表をしました。

今回の取り組みを通して、その人らしく過ごすには職員、家族等、周囲のサポートが大切であると改めて感じました。今後も安心して過ごしてもらえるようなケアを努めていきたいと思

## ～クリスマス会～

12月14日に、クリスマス会を各ユニットにて開催しました。今年は地域運営推進会議と同時開催し、地域の方々にも行事に参加して頂き、入居者様ご家族様らと共に、バイキング形式での食事を楽しんで頂きました。クリスマスツリーやユニット内の飾りの作成も入居者様と協力し、ユニットをクリスマス仕様に仕上げました。ソフト食の説明や試食も行い、また、レクリエーションでは入居者様の笑い声や拍手が起こるなど、とても和やかな雰囲気の中、楽しい時間が過ぎていきました。今後も季節を感じて頂けるような行事を行っていき



## ～作品作り～

毎年行われる永生病院の文化の祭典にグループホームからも、作品を作り展示しています。1ユニットで協力してひとつの作品を作ったり、個人で俳句・絵を作成して出品しています。「みんなに見られるきん」と毎日コツコツと一生懸命作られています。

# サンライズこんぴら Sunrise Konpira

## ●基本理念

住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います

## ●基本方針

- 1.通い泊まり・訪問のサービスを、随時組み合わせた介護支援を行います
- 2.地域の中での関係を大切に継続するとともに、個性を尊重した支援を行います
- 3.365日24時間切れ目のない安心した在宅生活が送れるような支援を目指します

## ～外部評価～

外部評価とは、事業所内で日ごろの業務の自己点検(自己評価)を行い、自己評価結果等を元に香川県社会福祉協議会から委託された調査員が事業所を訪問して1日かけてヒアリング・書類確認などを行います。11月28日に訪問調査が行われました。サンライズでの取り組みやケアを行う上で気をつけている事などの説明を行いました。第三者からの評価や意見を頂く事で気づく事も多くありました。外部評価結果から改善点を検討し、質の高いサービスの提供を行っていき



## ～認知症サポーター養成講座～

12月16日に琴平町地域包括支援センターの要請で、認知症サポーター養成講座を開催しました。地域の方12名が参加されました。認知症やその治療についての知識や、認知症の方への対応を学んでいただきました。認知症の方への対応では、サンライズで実際にあった事例を劇にして伝え、「分かりやすい」「印象に残る」と好評でした。地域の方に認知症を知っていただく機会を今後も作り

## ～クリスマス会～

12月21日にサンライズこんぴらでクリスマス会と地域運営推進会議を同時に開催し、地域の方、家族の方に参加して頂きました。地域運営推進会議では、職員がどのような研修に参加しているのかを報告したり、食中毒にならない為の予防法などをお話しました。クリスマス会では、永生病院委託の調理師の方による料理が振る舞われ、レクリエーションではバルーンアート等を行いました。最後にはサンタさんも登場し、来て頂いた皆さんにささやかなプレゼントをお渡しすると、笑顔で喜ばれていました。今後も多くの方に参加して頂き、喜んで頂けるような行事を考えていき



# 利口げな話

認知症や介護について、分かりやすく説明したいと思います。

## 第8回

## 周りの対応によって症状は良くも悪くもなる ～穏やかな気持ちで接する～

認知症の治療は薬物療法だけではありません。リハビリや介護サービスを利用して残っている身体的・精神的な機能をなるべく長く維持するといった事も必要です。また、ご家族や周りの人がどのように接するかという事も非常に重要になってきます。

認知症の記憶障害により、何度説明してもすぐに忘れてしまい、同じ質問・行動を繰り返します。そんな時イライラして自分の感情を言葉に出してしまい、厳しい口調になってしまう方もいると思います。しかし、認知症の方は「同じ事を聞いている」という意識はありません。認知症の方にとっては、何度同じ事を繰り返しても、その度に「初めて聞いている事」なのです。そのため、なぜ相手が怒っているか分からず不快に感じて「嫌な人だ」という感情を持ったり、混乱したりします。

大切な事は同じ事を質問されてもなるべく穏やかな気持ちで、初めてのつもりで話をすることです。周りの人の適切な対応によっても症状は軽くなります。

(参考文献:認知症のお年寄りへの対応 編集/順天堂大学医学部精神医学講座教授 新井平伊)

